事業所名　グループホームふくろう

作成日：　平成 22 年　4 月 15 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	日常的な外出支援の偏りや個々の生活歴やなじみの人間関係に配慮した支援の不足がある。	身体状況に合わせて定期的に外出したり、できる範囲で家事などを計画して行うなど、アクティビティを充実させていく。	事業所側の通学路を通る小学生の姿を眺めたり、交流を通じて、地域とさらなる交流を深めていく。 家族との外出方針のすり合わせを行い、スケジュールの調整及び実行を図る。	6ヶ月
2	26	家族からの情報収集や或いは生活状況の中から、スタッフ間で話し合い介護計画を作成し、モニタリングしているが、面会回数の少ない家族との意見交換や計画書の説明が不足していたのではないかと考えられる。	今まで以上に家族との意見交換の場を増やし、利用者並びに家族の意向、状況を踏まえた介護計画作成に努め、かつ、作成した計画並びにモニタリングの内容を作成時または変更時には必ず報告する。	介護計画書への家族のサインの有無を定時チェックし、確実に説明するようにします。 面会回数の少ない家族へは郵送等の手段を利用し、計画書だけでなく、利用者の日頃の状況などのコメントも付け、ケアの報告をしていきたいと考える。	6ヶ月
3	34 35	避難誘導訓練は実施しているが、消防職員を講師として招き、救命講習及び消火活動訓練が実施できていない。	消防署に協力を仰ぎ、避難誘導訓練を実施する。全職員が消火器及び火災報知器の取り扱いができるようにする。	３月と９月に避難誘導訓練もしくは災害時における消火活動訓練を実施する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。